

平成29年度 秋田県雄勝地域保健医療福祉協議会  
議事録

日時 平成30年3月7日（水）午後1時30分～2時55分

場所 雄勝地域振興局大会議室

出席委員

	職名	氏名
	秋田県薬剤師会湯沢雄勝支部幹事長	泉谷 興
	湯沢雄勝地区食生活改善推進協議会長	榎本 鈴子
	湯沢雄勝食品衛生協会会長	小原 新治
	湯沢雄勝地区衛生組織連絡協議会長	門脇 忠治
	湯沢市雄勝郡社会福祉入所施設協議会長	近野 功
	県南地区介護支援専門員協会副会長	佐々木 尚敏
	湯沢市福祉保健部長兼福祉事務所長	佐藤 茂樹
○	湯沢市雄勝郡医師会長	佐藤 政弘
	湯沢市雄勝郡歯科医師会長	柴田 貞彦
◎	湯沢市長	鈴木 俊夫
	南教育事務所雄勝出張所長	鈴木 康
	雄勝中央病院長	天満 和男
	湯沢地区結核予防婦人会連合会長	中山 孝子
	秋田県看護協会湯沢雄勝地区支部長	畑山 奈保子
	湯沢商工会議所常議員	前田 貞一

(◎は会長、○は副会長)

欠席委員

湯沢市社会福祉協議会長 菅 義 雄

その他出席者

- ・湯沢市社会福祉協議会 梁瀬 和子  
(菅委員欠席のためオブザーバーとして出席)

事務局職員

- ・秋田県雄勝地域振興局福祉環境部長  
兼湯沢保健所長 小 裕 真 吾
- ・その他福祉環境部職員 7名

開 会 (午後3時)

## 開会宣言 (事務局)

### 小栢福祉環境部長あいさつ

あいさつ終了後、司会から湯沢市社会福祉協議会の菅委員が欠席となったため、オブザーバーとして、湯沢市社会福祉協議会地域福祉課 梁瀬和子氏が参加していることが報告された。

## 議長の選出について (事務局)

保健医療福祉協議会条例第5条第2項の規定により、会長の鈴木委員が議長に選出された。

## 議事録署名人の選出

近野委員と畑山委員が議長から指名を受け、議事録署名人に選出された。

## 協議会の成立宣言

委員16名中15名の過半数が出席していることから、条例第5条第3項の規定により、会が成立していることが宣言された。

## 報 告

### 平成29年度地域医療推進部会、救急・災害医療検討部会及び 献血推進部会での協議結果

地域医療推進部会及び救急・災害医療検討部会について佐藤委員、献血推進部会については事務局から協議結果を報告した。

質疑はなかった。

## 協 議

### (1) 平成29年度主要事業実施状況について

各課の事業実施状況について、各課長から事前配布資料に基づき説明した。説明後、一括して質疑応答。

### 天満委員

精神保健福祉相談について、本人というよりは、家族からの相談が多いかも知れないが、どのような指導をしているか、相談の結果どのような形に落ち着いているのか。

### 事務局（吉田班長）

ご本人よりは家族からの相談が多く、相談内容については、なかなか受診に繋がらないのでどうしたら良いかという内容が多い。相談を受けた保健師が家庭訪問をして状態を確認し、場合によっては受診の勧奨や受診の際に同行する事もあり、治療に向けて一歩踏み出すための支援が中心となっている。

### 榎本委員

食品表示について、秋田県で指導を受けて作った食品表示について、東京都から指摘を受けた例があったが、どのような基準に基づいて指導しているのか。

### 事務局（藤田課長）

食品表示の所管は消費者庁となっている。一枚の紙に原材料、消費期限、アレルギーなど様々な情報を記載することになっているが、都道府県毎に条例等で規定しているのでは無く、食品表示法で定められているものである。

トラブルになる例としては、説明の際、見本を示しながら説明しているが、そのまま使用してしまい、実際の製品と表示が食い違ってしまう事がある。

### 前田委員

入浴事故防止について、平成29年の発生状況はどうなっているか。

### 事務局（吉田班長）

平成29年は事故件数が59件、死亡者は17件で昨年より少し増えている。今後はより啓発に力を入れて、事故を防いで参りたい。

### 前田委員

私の友人に統合失調症の方がいて、相談を受けることがあるが、このような方々の相談は、どこにどのような形でしているのか。

### 事務局（吉田班長）

精神保健を担当している保健師が2名おり、定期相談のほか、随時に電話や直接来所して相談していただいている。必要があれば企画福祉課に問い合わせていただきたい。

### 天満委員

食品衛生監視指導の対象施設について、「高度な処理技術を要する製造施設」とあるが、これはどのような施設か。

### 事務局（藤田課長）

牛乳や酒、清涼飲料水など、ある程度日持ちする食品を作る施設が該当する。

### 泉谷委員

廃棄物の不法投棄について、湯沢市ではスマートフォンを利用したシステム

を導入するようだが、平成30年度の事業はどのように変わってくるのか。

#### 事務局（梶谷班長）

湯沢市、保健所それぞれ不法投棄の位置を把握しており、これまでも情報交換しているが、より情報交換がスムーズになると思われる。保健所はGPSを使って不法投棄箇所の位置を特定しており、湯沢市から依頼があれば、情報提供する事は可能である。

#### 前田委員

献血推進部会の報告の中で、献血者数の目標に対し、達成率が99.9%とあったが、今年の献血推進全国大会の成果とも考えられるのではないかと。

#### 事務局（佐藤副主幹）

正式に示せるデータは無いが、今回の全国大会は大々的に報道され、また、来賓も皇太子など多く来県された事もあり、開催県としては、かなり県民にアピールできたのではないかと考えている。

### （2）平成30年度雄勝地域振興局施策推進方針、及び福祉環境部関連事業について

事務局から事前配布資料に基づき説明した。  
説明後、一括して質疑応答。

#### 鈴木委員

平成30年度の振興局の事業については、市町村と協働しながら進めると効果が上がるものと思われる。市としても連携して取り組んで参りたい。企業博覧会については、中学生にとっては、地元にも多くの企業があることに気付いてもらえるし、高校生も地元の企業に興味を持ち地元定着につながる良い機会と感ずる。

#### 前田委員

昨年、ねんりんピックが開催されたが、健康長寿のためには、スポーツなどの趣味を持つ事も大事だと考えるが、生きがいをサポートするなどの取り組みをプロジェクトに取り入れてみてはどうか。

#### 事務局（小國次長）

委員の質問のとおり、県としてもねんりんピックを好機と捉え、スポーツなどの生きがいをサポートする事業を計画している。局としても市町村の実施する事業に協力できるよう努力して参りたい。

#### 榎本委員

食生活改善推進協議会は、メンバーからの会費を原資として、地域の健康推進のために活動してきている。しかし、ここ数年は行政の予算の削減もあり、思うような活動が出来ないでいる。やはり、行政と協力して活動していくことによってより効果が出ると思うので、協議会の活動に理解をいただきたい。

#### 鈴木委員

了解した。

### (3) その他

質疑は無し。

## 閉 会

午後2時55分に閉会を宣言し、平成29年度雄勝地域保健医療福祉協議会は終了した。